

# 「子どもの育ち」地域の絆で支えよう

和太鼓体験をする子どもたち



6月9日、市内NPO法人などによる「ふれあいフェスタ2013」が、さくら小学校で開催されました。

同フェスタは「つなげて、ひろがれ、そだちの輪」をテーマに、赤ちゃんから高齢者までの様々な世代が一堂に会して、地域ぐるみで子どもの育ちを支えることを目的としています。

オープニングは、和太鼓演奏。力強い演奏が体育館に響き渡り、参加者たちからは大きな拍手が送られました。

体育館や教室では、ギザギザの溝が付いた竹を棒でこすると先端のプロペラが回転する「ガリガリとんぼ」の手作

## 「ふれあいフェスタ2013」開催



ガリガリとんぼで遊ぶ子どもたち

り教室や体験コーナー、また乳幼児に関する子育て相談コーナーなどで、様々な世代の人たちが交流していました。

ガリガリとんぼ作りを体験した芝瑠希くん(7)は、「初めて作って、楽しかった」とうれしそうに話していました。

6月8日、梅雨を迎えたこの時期、水害に備え、川口市民運動公園で市消防団、市女性防火推進隊、市役所、市消防本部による合同の水防訓練が行われました。約150人の参加者たちは、河川の氾濫などを想定し、水防工法訓練や災害炊き出し訓練に励んでいました。

## 水防訓練を実施

土の積みや災害炊き出し

水防工法訓練では、「訓練はじめ」の号令を合図に、7小隊に分かれた参加者たちがそれぞれの配置につき、土のう作りを開始。約200枚用意された土のう袋に、スコップで迅速に土を詰め込んでいきます。

土のう完成後は、漏水個所周辺に土のうを円形に積み上げ、堤防内部の土砂流出による決壊を防止する「釜段工法」や、土のうを積み上げて水が堤防を越えることを防ぐ「積み土のう工法」など、全4種の工法を各小隊で分担して実践。参加者たちは、真剣な眼差しで工法の実施方法を確認していました。



工法を実践する市職員たち

# まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

佐藤九段と対局する子どもたち



## 盤上で息詰まる熱戦

### 第15回佐藤康光杯争奪将棋大会

6月16日、八幡市出身のプロ棋士、佐藤康光九段を迎え「第15回佐藤康光杯争奪将棋大会」が、市文化センターで開催されました。

同大会は、佐藤九段の第56期名人位獲得を記念して平成11年に始まり、今年で15回目を迎えました。日ごろの練習の成果を試そうと集まった228人の参加者たちは、4階級に分かれ、息詰まる熱戦を繰り広げました。

開会式のあいさつで佐藤九段は、「3月に残念ながらタイトルを失ってしま

ました。今年は巻き返しの年にしたい」と意気込みを語っていました。

佐藤九段は各級の予選を見て回った後、小学生以下の初級者17人と一度に対局する多面指しを行い、終局を迎えると、子どもたちに勝負の分かれ目などを丁寧に指導していました。

佐藤九段と対局した田原慶高くん(11)は、「佐藤九段は強かった。アドバイスをもらって、どうすれば勝てるかが分かった」と話していました。

## 園児と保護者 一緒に田植え

6月5日、有都こども園の4、5歳児65人とみやこ保育園の園児8人が合同で、内里の田んぼで田植え体験を行いました。

有都こども園では、園児たちに食べ物大切さを知ってもらおうと、野菜や米などの苗植えや収穫などを行い、食育に取り組んでいます。

今回の田植えは、園児と保護者が一緒に行いました。

園児たちは、膝までの長さの靴下に履き替え、田んぼに入る準備。そ

して、保護者に手を引かれて田んぼの中に入ると、「ヌルッとして、冷たい。気持ちいい」と大はしゃぎ。

園児たちは保護者と一緒に横一列に並び、一直線に伸びたロープに沿って、楽しそうに苗を植えていました。

苗を植え終わった田んぼは、後日、園児たちの手作りのかかしが、園児たちに代わってしっかりと見守ります。

そして、秋には実った稲穂を収穫し、おにぎりにしていただきます。



田植えを楽しむ園児と保護者たち